令和6年度 第1回下野市環境審議会 議事録

日時:令和6年8月20日(火) 午前10時～午前11時

場所:下野市役所2階 203会議室

出席委員:中村祐司会長、國井利恵子委員、中川賢一委員、隅谷サヨ子委員

高梨弘幸委員、伊東佳久委員、川田玲子委員

事務局:直井市民生活部長、若林環境課長、松本課長補佐、飯野課長補佐、山口主査

○次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議成立の確認及び会議録署名人の指名

4 議 事

(1) 下野市環境基本計画の進捗状況について [資料1]～[資料3]

(2) クビアカツヤカミキリについて [資料4]

(3) 指定ごみ袋制度について [資料5]～[資料8]

(4) その他 [資料9]

5 閉 会

議事

(1) 下野市環境基本計画の進捗状況について

会長 それでは議事に入ります。

(1) 下野市環境基本計画の進捗状況について、事務局に説明をお願いします。

事務局 <資料1、資料2、資料3に基づき説明。説明略>

会長 多岐にわたりますが、皆様いかがでしょうか。説明になかったことでも結構ですし、資料に関するご質問がありましたら、お願いします。

委員 先程説明のありました2-1-1で、家庭の廃食用油の回収と有効利用がありましたが、回収は書いてあるのですが、その後どのように再生利用されているのか触れていなかったもので、その点についてお聞きしたいと思います。

事務局 廃食用油のリサイクルにつきましては、1kgあたり2円で回収業者に売却しております。売却された油は石鹸やバイオディーゼルにリサイクルされております。

委員 施策内容の1-3-1のところで、市内での気候変動の影響と考えられる事象の収集・整理と情報提供の項目で令和5年度は×としていますが、事象が無かったということであれば×にする必要はないかと思えます。また、資料3にある気候変動の影響の中で、事象の内容が報告されているので、×ではないと思うのですがいかがでしょうか。

事務局 環境課では気候変動の影響等について把握していなかったのですが、農政課や健康増進課など他の課では把握しております。そちらの項目については×ということではなく、○であると思えますので修正させていただきます。

委員 環境基本計画のチェックリストは下野市役所全体に係るものですので、他の課の情報の収集状況を確認することが重要であると思えます。地球温暖化や気候変動適応に関しては、行政としては部局横断的な取組が必要であると思えますが、下野市の場合には何か横断的な取組を掌握するような組織や会議形態はありますか。

事務局 環境基本計画の中で、地球温暖化対策に関して、庁内を横断的に掌握する会議もありますので、そちらについても活用していくのも課題であると思えます。

会長 ありがとうございます。環境課以外の課からいかに協力を得られるかというところが重要で、横断的な取組が必要になりますね。

委員 2025年度に学校教育サポートセンターに太陽光発電設備を新設する予定であることについて、行政改革推進会議でそろそろ計画ができて発注できる段階まで来てなければならないと思えますが、実際に何も動いていない状況です。予定する設備について、環境課と事前の打ち合わせなどを行っているのでしょうか。環境課として何か現在進行している内容があれば伺いたいです。

事務局 環境課といたしましては、これから新しく建てる建物につきましては、少しでもCO2を減らせるようにということで、太陽光発電設備を設置してくださいというお願いとかはさせていただいております。

委員 具体的なものはまだないのですね。

事務局 学校教育サポートセンターについて、進捗状況につきましては環境課に情報が来ていないのですが、相談は一度受けさせていただいております。

- 委員 結構綿密な打ち合わせをしないといけないと思います。費用も掛かりますしね。
- 会長 様々な意見を出していただきましてありがとうございます。私から一点なのですが、資料2の所で年間の発電量が下野市庁舎は 24,890kW となっております、非常に大きくてPRになると思いますが、他の施設で「不明」となっている箇所がありまして、発電量を把握することは難しいのでしょうか。
- 事務局 施設を管理している教育総務課になぜ不明か確認をしたのですが、発電量を示す機器が不具合を起こしているため不明であると報告を受けております。各施設で太陽光発電施設を設置しておりますので、発電量を把握する必要があると考えております。
- 会長 太陽光発電の捉え方自体や、施設の耐用年数を迎えた時の今後の更新・リサイクル等、時代に応じて様々な考え方が出てくると思います。
- 委員 個人住宅で太陽光発電を利用していると、電力会社から毎月いくら購入したか通知が来ますので、それを基づいてどれくらい発電したかわかるのではないかと思います。発電量を示す機器もありますが、今月はこれだけの発電量がありました、これだけの費用を購入した値段を提示されますので、わからないことがあるのかと思いました。
- 事務局 先程委員よりご意見があったとおり、明細を保管していると思いますので、把握できるものは把握していきたいと考えております。
- 委員 その発電したものを施設の中で使用しているのか、余った電力を売電されているのかというのともわかると良いと思います。
- 会長 その先の使い道ですね。
- 委員 私たちも電気使用量が気になるのですが、未来を担う子供たちに今どのくらいの電力を発電しているのか、使われているのか説明しなければならず、子供たちもSDGsを学校で学んでいるので、それを数値化してあげることによって意識付けができるのではないかと思います。
- 会長 太陽光発電以外のことでも結構ですので、環境基本計画全体について、他に何かご意見ありますでしょうか。
- 委員 私も子育てをしているので、先程別の委員がおっしゃたように子供たちのことを考えての環境づくりが最優先であると思います。
- 事務局 本日欠席された委員よりご意見をいただいておりますので、ご報告させていただきます。意見が2点ありまして、1点目は先程意見をいただきました、太陽光発電の導入後で発電量不明の施設があるのはいかがなものかということでございます。どんなシステムでも月1回の検針、記録は数分でできるため、管理体制に問題があるのではというご指摘を受けました。ご意見された委員は環境家計簿の診断を行っており、エネルギーデータの管理や解析など協力できますので、検討いただければとのことですが、もう一点ですが、市域のCO2排出量削減量が大幅な未達となっており、下野市のカーボンゼロシティ宣言がグリーンウォッシュ、環境に配慮しているように見せかけながら実は上辺だけと思われぬように未達の要因は何か、そして今後はどう見直していくか、明確にしていく必要であるという意見をいただきました。
- 会長 意見をいただけてありがたいですね。

(2)クビアカツヤカミキリについて

- 会長 次に、(2)クビアカツヤカミキリについて、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 <資料4に基づき説明。クビアカツヤカミキリの標本を委員に示す。説明略>
- 会長 ありがとうございます。下野市で巡回し、確認をしているのでしょうか。
- 事務局 担当課で一本一本目視させていただいております。
- 委員 烏ヶ森調整池の所の周りの樹木が青いシートで巻かれているのを見かけるのですが、あれは被害にあった樹木ではなくて、予防のためですか。
- 事務局 青いシートで巻かれているのは、被害を受けた樹木です。フラスが確認されておりますので、成虫が飛ばないようにシートを巻いております。
- 委員 随分本数が多いですね。驚きました。その樹の周りも、もしかしたら被害にあう可能性もあるのですね。
- 委員 県南地区でクビアカツヤカミキリの被害が多く確認されていますが、隣の群馬県の情報をお願いしたりしていますか。県南地区に被害が集中しているということは、群馬県でも被害が起きていると思います。県内だけ対策しても、隣県から飛んできますので、把握しておく必要があると思います。
- 事務局 栃木県では2017年に初めて被害を確認されたのですが、群馬県ではその2年前の2015年に初めて被害を確認されております。
- 詳細な情報はホームページに掲載されております。
- 委員 新聞でクビアカツヤカミキリの写真を見ましたが、現物を見ると違いますね。
- 会長 情報の共有ということですね。ありがとうございます。
- 事務局 下野市では、個人の住宅でクビアカツヤカミキリの被害にあわれた樹木を伐採するときに、今年度から補助金を用意しております。伐採する前に環境課に相談していただいて、それから伐採していただくこととなります。金額が上限25万円で、伐採経費の6分の5が市で補助できる金額でございます。個人で伐採したものでなく委託したのに対して補助をしております。伐採は成虫が飛来しない時期、寒い時期に行うなど栃木県のマニュアルに沿って実施することとなります。被害があった樹木をお持ちになった方がいれば、補助がある旨ご案内していただければと思います。

(3)指定ごみ袋制度について

- 会長 次に、(3)指定ごみ袋制度について、事務局に説明を求めます。
- 事務局 <資料5～資料8に基づき説明。説明略>
- 会長 10月から、指定ごみ袋制度が始まるということですね。皆様、いかがでしょうか。
- 委員 資料8の「雑紙とは」の裏面の製紙原料に適さない紙類の例のB類の古紙に混入することは好ましくないものは、地域の古紙問屋または古紙回収業者にご確認くださいとありますが、多くの方は市に出すので、出してはいけないと明記することはできないのでしょうか。もう一点ですが、ビール缶が6本入った紙パッケージは古紙として出してはいけないと言われているのですが、それも雑紙として、「紙」のリサイクルのマークがついていますが、下野市では出してよいものなのか出してはいけないものなのか明確にしてほしいと思います。

事務局 B類は古紙に混入することは好ましくないものとされていますが、説明会では粘着物やカーボン紙は雑紙として出さないでくださいと説明しております。ビールの紙パッケージについて、「紙」のリサイクルマークがついているものは雑紙として出してよいものがございます。

委員 ビールのマルチパックというのは、紙を作る時に薬品が入っているので混ぜるといけないと言われたことがあるのですが、下野市ではそれは雑紙の中に入れてよいということで理解してよろしいでしょうか。

事務局 紙として利用できるかどうかの割合が大事なところでもありますので、「紙」というリサイクルのマークが表記されている物であれば、雑紙として出すことができます。

委員 もう一つ確認したい点がございまして、靴を買ったときに箱に入っている緩衝材として入っている薄い紙はリサイクルできないと聞いているのですが、こちらは使用済み昇華転写紙になるのですか。

事務局 A類に昇華転写紙や詰物とありますが、緩衝材の物は転写式の物が多いです。見てすぐわかるかというのはなかなか難しいかと思いますが、緩衝材は混ざると雑紙として利用ができないので、こちらにつきましては「もやすしくないごみ」として出していただくこととなります。

委員 その判断がとても難しく、紙として見るともったいないような気がしてきまして、緩衝材として入っているのは、伸ばすときれいに見えるし、資源であると考えてしまうのですが、アイロンプリント紙と書いてあるのをもう少し分かりやすいような言葉にしてほしいと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 こちらは公益財団法人古紙再生促進センターで作成した資料でございます。下野市のごみのルールブックは平成 31 年に作成したのが最後ですので、こちらの内容を修正しております。新しいルールブックを作成する予定です。市民の方にとって分かりやすい表現にすることも考慮して作成していきます。

会長 下野市の説明の中で、できるだけ前向きに対応していきたいということですね。「もやすかない」という理念を浸透させるとなると、市民の方に理解いただく必要がありますね。

(4)その他

会長 次に(4) その他ですが、委員の皆様から、何かありますか。

<特になし>

事務局からは、何かありますか。

事務局 <資料9「下野市路上喫煙の防止に関する条例施行後の経過について」に基づき説明。説明略>

会長 ありがとうございます。これについては、情報として受け止めればよいですね。

以上